

重点的に育成したい資質・能力 **問題発見解決能力** 各教科で目指す子ども像（成長目標）

		国語	社会	数学	理科	音楽	図工・美術	保健体育	技術	家庭	外国語
小学校	低学年 (1～2年生)	自分の知りたい情報を得るために、好奇心を持って学習に取り組み、事実を大まかにとらえることができる。「こうしたい」という願いや思いをもって物事に取り組むことができる。		身の回りの事象に興味をもち、具体物を観察したり操作したりして数量や形を見いだすことができる。発見した問題を、数えたり比べたりまとめたりすることを通して解決し、解決した結果を確かめることができる。		様々な音楽や音に興味をもち、楽曲が生み出す面白さや美しさを楽しむことができる。	自分の思いを材料や用具を使い、表し方などの工夫をして、創造的に取り組むことができる。	動きのもつ楽しさを見つけ、自ら進んでいるいろいろな動きを試して楽しむことができる。			身の回りのものの英語での言い方を知り。英語の歌や絵本などを通して、英語を使って考える楽しさに触れることができる。
	中学年 (3～5年生前半)	感想を持ったり考えたりするために、文章の構成を生かしたり、自分の言葉を用いたりして適切に短くまとめようとしている。	課題、問題を見出した際に、本やインターネットで調べたり、詳しい人に聞いたりするなど解決するための方法を知り、実行できる。	日常の事象から算数の問題を見いだし、解決すべき問題を把握した上で、既習事項を用いて解決することができる。また、解決した結果を確かめたり、深めたりすることができる。	「問題を見い出す」→「予想する」→「実験方法を考える」→「結果を整理する」→「考察する」→「結論を出す」→「新しい問題を見い出す」という問題解決のプロセスを理解する。問題解決のプロセスをメタ認知することができる。	楽譜を見て、音符や記号を使って、思いや意図をもって、表現することができる。	手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い表し方を工夫して、創造的に表現することができる。	良い動きや技をみつけ、自分に合った場を選び課題解決に向けた練習方法をみつけることができる。			自分の身の回りのものについて動作を交えながら、目的や場面に応じた英語の表現について考えを深めることができる。
	高学年 (5年生後半～6年生)	文章や課題について、自分事としてとらえ、試行錯誤しながら考えを広めたり深めたりできる。考えを検討する姿勢をもち、筆者の考え絵や文章の要点をとらえることができる。	身近な問題に自ら疑問をもち、調べたり話したりすることを通して、問題の本質をとらえようすることができる。	日常の事象を数理的に捉え、数学的に適切に表現・処理し、試行錯誤しながら問題を解決することができる。また、解決の過程や結果を振り返って、問題解決過程の吟味をしたり、結果の妥当性や信頼性を判断したりすることができる。	得られた結果が妥当かどうか検討し、妥当でない場合はその理由を考え、再実験することができる。複数の方法を試したり、同じ実験を繰り返して複数のデータを集めたりして、より妥当な考えをつくりだすことができる。データが少ない場合は、より多くのデータを収集して事実を正確に把握しようすることができる。		音楽用語や記号をもとに、試行錯誤しながら、表現の工夫に活かせることができる。	材料や場所、空間などの特徴を基に試行錯誤して、より自分の考えを形にすることができる。作品の中で工夫されている部分に注目し、考えを広げることができる。	各運動の技能を理解し個人・チームの課題を設定し、解決に向けた練習内容を工夫することができる。		
中学校	前半 (1～2年生前半)								制作を通して生じた失敗を経験し、試行錯誤を通して修正しようとする行動し、事実として素直に認める態度を持つことができる。		
	後半 (2年生後半～3年生)	自分のキャリア形成と国語の学びを関連付け、先を見通す力を伸ばしながら協同的に解決策を見出すことができる。どのような視点で物事をとらえ、どのような言葉を使って表現したらよいかということについて、よりよい解決方法を見出すことができる。	今までの学習をふまえて問題解決の方法を見出すことができる。調べて（解決して）学習が終わるのではなく、他の場面（問題）でも活用できるようになる。	日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、結果を予測し、数学的に表現・処理し、問題を解決することができる。また、解決の過程や結果を批判的に振り返って、問題解決過程の吟味をしたり、結果の妥当性や信頼性を判断したりすることを通して、統合的・発展的に考察することができる。	問題の解決方法や結果をもとに、現在の技術をどのように活用していくか考えられる。多面的な考えから、新たな問題や疑問を見つけ、社会に活用する問題の発見やよりよい解決方法を見つけ出すことができる。	主体的、協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽を形づけている要素や用語、記号を用いることができる。	目標をもって作品の主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ることができる。試行錯誤しながら総合的に表現し、作品を制作することができる。	体のメカニズムや力の伝わり方、基礎体力の向上のさせ方をしっかりと理解した上でアドバイスを取り入れた練習を自主的に行うことができる。	理想を持って製作に取り組み、他者の製作品や取り組み態度から自己の問題点を発見し、より良い解決法を見つけ製作品に反映することができる。	作品を考え作業するため、計画的に作業を配分して、時間内に解決することができる。	身のまわりの出来事や社会で起こる問題について外国語をつかって、お互いに考えを深め、コミュニケーションを通して解決策を探ることができる。外国語やその背景にある文化や諸問題を多角的、多面的にとらえ、他者と協働しながら自他の考えを深めることができる。